

美浜町の課題と対策

安心して住める社会を！

(株)森と暮らすどんぐり倶楽部
松下 照幸



<省エネ・自然エネ
の推進>

1, 美浜町が直面している課題

①福島原発事故以降の美浜町の民意

＜原発があることの不安＞

＜原発が無くなることの不安＞

美浜町の民意は「脱原発」!

＜美浜原発の現状＞

美浜1・2号機 40年超 3号機 36年

＜原発サイト直下に活断層＞

②原子力依存経済・・・どっぷり!!

原発による長年の雇用、自治体財政の供給

「反対するのは共産党」

「自然エネルギーを言うと反原発」

1, 美浜町が直面している課題

③行政のスタンス

今まで通りの交付金制度を望んでいる

40年を経て今なお「地域振興」という現実

自立支援システムが必要

町長との3回にわたる対談(T・ブリュワー, B・ヘーン、飯田哲也)

自然エネは沢山の雇用を生み出さない

自然エネは当地では普及しにくい

自然エネは原発の代替にはならない

ドイツは他国と電力網が繋がっている所以で脱原発が

可能

2, 何をすれば解決できるか

①脱原発を可能とする政策提案(2012, 9, 23)

森と暮らすどんぐり倶楽部 案

環境エネルギー政策研究所 案

「美浜町を自然エネルギーで溢れる町に！」

1冊 500円で販売

②反対から創造へ

美浜町の来年は、脱原発元年！

政策案を活かす年！

立地町の経済的条件を分析し、具体的提案を
民間レベルで提案できないか

2, 何をすれば解決できるか

- ③地域ビジネスへの具体的アクションが必要
 - 地域事業による収益性を具体的提案
 - 再エネ法活用、省エネ・ローテク技術の組み合わせ
 - 人材、資金、会社設立、等への支援
 - 熱エネルギーの活用
 - 病院、介護施設、一般家庭(開発済み)
 - 青年会議所メンバーへの期待
 - 団塊世代の息子達・・・危機感

2, 何をすれば解決できるか

- ④「自然エネルギー事業成功モデル」の構築
行政・地域には「成功モデル」が必要
行政主導事業では構築不可能

<新庄地区モデル>

美浜町面積の半分強・・・約150戸

活性化委員会の発足

風況調査結果・・・8.6m/秒、風向安定

小水力、太陽熱、バイオマス、地中熱(傾斜地利用)

ミニ地域熱供給システムの開発

2, 何をすれば解決できるか

<行政施設モデル>

病院、介護施設、学校、等

データ取得、分析、収益性

初期投資の軽減(支援事業、ファンド)

福井県へ「プロジェクトチーム」設立を要請

<隣接自治体モデル>

立地自治体不可能のケース

「遠交近攻の策」を用いる

小浜市、越前市、高島市、若狭町、他

3, (株)森と暮らすどんぐり倶楽部

自立困難といわれる「林業」で成功モデルを作る！

- 地域の若い優秀な人
たちを一次産業へ！
- 最初はホラに近い提案
2002年4月オープン
- 関電、日本原電、原子
力機構、その下請け会社群、他
11年間、完璧に当倶楽部を排除
立地では、一人で反対するしかなかった！



ご静聴有り難うございました

安心して住める社会を！

(株)森と暮らすどんぐり倶楽部
代表取締役 松下 照幸

中学生(関西)の自然を編む体験

